

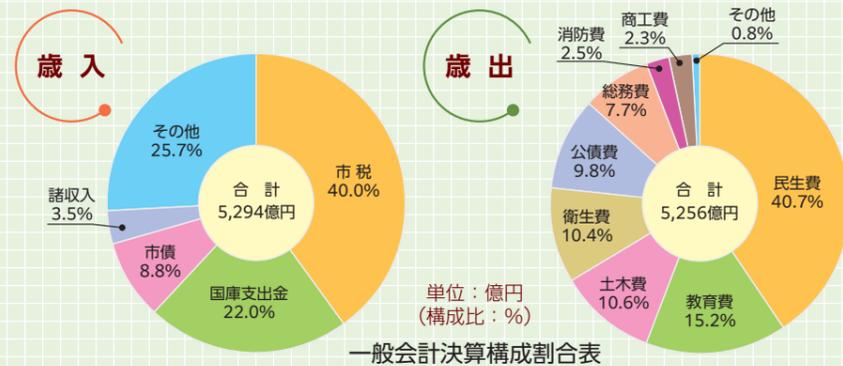
# 令和6年度決算認定について

## 決算に対する公明党市議団の意見 (令和6年度決算議案 賛成討論より)

令和6年度決算における一般会計・特別会計の実質収支は、55億3,702万円の黒字となりました。一般会計においても29億8,200万円の实質収支が確保された一方で、財政調整基金残高は対前年度比50億円の減で99億円となり、将来不安も感じる厳しい財政運営であったと捉えています。

しかしながら、病院事業の累積赤字額や基金からの借入残高は依然として多額ではあるものの、全会計市債残高で37億円、基金借入残高で10億円、いずれも対前年度比で削減するなど、中期財政運営方針を踏まえた財政運営であったことや、実質交際費比率および将来負担比率は引き続き同方針で定められた水準の範囲内となったほか、資金不足比率はいずれの会計においても発生しておらず、財政の健全性が一定程度保たれたことが確認されました。

公明党市議団として協議した結果、令和6年度決算を認定すべきと判断いたしました。



### Topics

## 狭小空間点検ドローンの視察

千葉市中央区に本社を置く狭小空間点検ドローンメーカーを視察しました。

同社の小型ドローンは、福島第一原発や能登半島地震、八潮市の陥没事故などで、人が入れない危険な場所の点検や人命救助に活用されています。

千葉市内でも下水道や雨水施設の点検手法の構築を検討しており、映像から3Dデータを生成できる点も特長です。

今後、このようなドローンなど先端技術を活用したインフラ老朽化対策の取組みを推進してまいります。



狭小空間点検ドローンの操縦風景

## 市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

年齢・お住まいについて (該当するものに✓をおつけください。)

- ▶お住い  中央区  花見川区  稲毛区  若葉区  緑区  美浜区  
 ▶年齢  20歳未満  20~39歳  40~59歳  60~74歳  75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立ててまいります。 **FAX.043-245-5584**

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <https://chibakomei.com/>

# 公明党千葉市議会議員団

## 市議会だより

2025  
秋号

発行日/令和7年10月 発行/公明党千葉市議会議員団  
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

## こども・若者施策の推進について

### こども・若者の意見が市政に届く!

千葉市では、2025年4月に「千葉市こども・若者基本条例」が施行され、「こども・若者会議」での意見・提案の施策への反映や、本市の若者施策の具体化に向け、市議団として若者の声を丁寧に聴く必要性を市へ求めてきました。「こども・若者会議」では、こども・若者が、市の事業について説明を受けたうえで、意見や提案を行い、それが専門家の支援のもとで整理される様子を拝見しました。

今定例会の代表質疑では、こうした意見がどのように施策に反映されるのか、また、令和8年度から始まる若者施策における、具体的な進め方、若者の参画および地域との連携について質問しました。

副市長からは、「こども・若者会議で出された提案は、全庁的なこども・若者施策推進本部で整理した項目をもとに、若者支援にかかる具体的な事業を取りまとめるとともに、優先的に実施すべき事業を精査し、令和8年度から段階的に実施していく予定です。」との答弁がありました。

### キミの“やりたい”を応援する! ユースセンターが始動

市議団では、こども・若者施策の推進に向けて、千葉市初のユースセンター「ちばユースセンター PRISM」を視察しました。

PRISMでは、若者の「やりたい」を尊重し、イベントや体験プログラムを通じて自己表現や社会参加を支援しており、このような居場所が各地域に広がることで、孤立を防ぎ、若者同士のつながりや地域との関係性を深めることを目標に活動をされています。

これからも地域の声を丁寧に拾いながら、こども・若者支援体制の構築に向けて取り組んでまいります。



こども・若者会議の様子



ちばユースセンター PRISM(プリズム) 視察

## 令和8年度予算編成に対する公明党千葉市議会議員団の重点要望

- 1 国の経済対策に応じた機動的な物価高騰対策の推進
- 2 持続可能な行財政運営に向けた取り組みの強化
- 3 市民サービス向上に資する行財政改革への取り組み強化
- 4 気候変動等に対応した防災・減災対策の強化
- 5 文化・芸術・スポーツの振興
- 6 共生社会実現に向けた諸施策の推進
- 7 安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充
- 8 超高齢社会への対応施策の強化
- 9 健康づくり・医療施策の推進
- 10 障がい児・者支援施策の推進
- 11 子ども・子育て支援事業の推進
- 12 児童生徒の安全対策および安心して学べる教育環境の整備
- 13 脱炭素社会づくりに向け、GXの実現など地球温暖化対策の着実な推進
- 14 生ごみ・プラスチックごみ対策などごみ削減・資源循環体制の確立
- 15 就職氷河期世代支援をはじめ非正規雇用者の就労や生活支援・キャリア形成の強化
- 16 農業の持続的発展を支える担い手の確保・育成および成長産業化の推進
- 17 都市の活性化に向けた取り組みの推進
- 18 ドローンなど先端技術等を活用したインフラ老朽化対策の強化
- 19 新病院の整備推進および海浜病院の老朽化対策への適切な対応



10月2日神谷市長へ重点要望書提出

令和7年  
第3回 定例会

## 公明党市議団の 代表質疑より

### スタジアム・アリーナ構想を核とした幕張新都心のまちづくりについて

幕張新都心は、千葉市の未来を担う新たな都市拠点として、国際交流・業務、研究開発、商業・文化、スポーツ・レクリエーション、住宅など、多様な都市機能が一体的に集積したエリアです。

また、県内最大級の集客力を誇り、国内外から多くの人々が訪れる、本市の新都心です。

この地域では、令和4年度にJR京葉線・幕張豊砂駅が開業し、令和5年度にはイオンモール幕張新都心のリニューアルや企業の本社誘致が実現。令和6年度には、海浜幕張駅に新たな「公園改札」が供用開始されるなど、交通・商業・業務面での整備が進んでいます。

さらに、令和8年度には仮称・市立幕張若葉小学校の開校、市立幕張海浜病院の開院が予定されており、教育・医療の面でも地域の機能が強化されます。

令和9年度には幕張海浜公園Bブロックの活性化施設整備・運営に民間活力を導入することが決定。令和12年度にはAブロックにアルティアリー新アリーナが開業予定であり、令和16年度にはマリンスタジアムの再整備が目標されています。

これらの動きは、幕張新都心を第2のまちびらきとして再構築する大きな取り組みとなることから、今後のまちづくりには、司令塔となる組織の明確化と強いリーダーシップが求められます。

また、社会経済の動向や民間の意向、国・県・市の政策を的確に踏まえた新たな都市計画の共有が不可欠です。

今定例会では、幕張海浜公園の活性化施設整備（民間導入）、アルティアリー新アリーナの建設検討、マリンスタジアムの再整備などの動きを核とし、幕張新都心全体を俯瞰したまちづくりの方向性について質問しました。

市長からは、「官民連携によるプロジェクトを将来構想実現の好機と捉え、民間主体の取り組みを推進しながら、まちづくりの基本方針策定に向けた検討を進めていく。」との答弁がありました。

今後も市議団として、スタジアム・アリーナ構想を中心に据えながら、幕張新都心のまちづくりを着実に推進してまいります。



### 手話に親しむ機会の創出 「伝えたい」が届くまちへ 手話でつなぐ共生社会の第一歩

千葉市では、手話が言語であることへの理解と普及を促進し、障がいの有無にかかわらず互いに助け合う地域共生社会の構築を目指し、「千葉市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」が6月27日に施行されました。

また、国においても「手話に関する施策の推進に関する法律」が施行され、9月23日が「手話の日」と定められるなど、手話への理解が進んでいます。2025年11月には東京デフリンピックの開催もあり、市民の関心が高まっています。

市議団では、これまでの取り組みと今後の方向性について質問し、副市長からは、「福祉講話での手話体験、療育センターでの講習会、聴覚障害者団体への助成を行う。」などの答弁がありました。

今後は、「手話の日」に千葉都市モノレールセントラルアーチのブルーライトアップやパネル展示、手話動画の公開、情報コミュニケーション支援のリーフレット作成などを通じて、手話が自然に使われる共生社会の実現を目指す方針が示されました。

市議団として、条例の理念を市民生活に根付かせるため、今後も継続的に取り組みを推進してまいります。



教育長より手話を学ぶ。

### 有害鳥獣対策の強化 市民とともに考える有害鳥獣対策

近年、本市では緑区・若葉区を中心にイノシシの目撃や農作物被害が増加しており、箱わな・くくりわなの増設、電気柵の支援、免許取得補助などが進められています。

#### イノシシに出会ったら…



都市部でもJR千葉駅周辺や赤井町での出没、空き家へのハクビシン・アライグマの侵入などが確認されており、こうした都市部における生活被害の拡大を受け、有害鳥獣対策の現状と今後の方向性について伺いました。

副市長からは、「生活被害が拡大していることを踏まえ、被害の種類に応じた対策を講じており、被害の防止と安全確保に努めている。今後も市民の安全・安心を守ることを第一に、住宅地などにおける生活被害の防止に向けた施策を強化していく。」との方針が示されました。

### 第5期千葉市病院改革プラン

近年の病院事業については、令和2年度以降でコロナ補助金で黒字化しましたが、令和5年度から再び赤字になってしまいました。令和6年度決算においても医業収支がマイナス66億円、純損失は13億円と厳しい状況です。

今後も病院事業は、新病院建設に伴う物価高騰費用への対応、老朽化した海浜病院の修繕費用や新病院完成後の海浜病院解体費用など、多額な財政需要が見込まれていることから、これまでの病院改革プランの評価と次期プランについて、さらに、病院事業の赤字の原因と累積欠損金の解消の見込みについて伺いました。

市からは、「新病院におけるがんの集学的治療体制の強化など高額医療の提供等、収益増を図りながら、十数年後の経常収支の黒字化を目指し、中長期的な課題として、累積欠損金の削減に取り組む。」との答弁がありました。

市議団として、地域医療の中核を担える質の高い医療の提供と持続可能な財政運営の両立を求めてまいります。



新病院完成イメージ